

学生 ①

「シエナ大学での海外研修を経て」

私達シエナ大学の研修期間は成田での前泊を含めて3月9日から3月16日の8日間でした。

9日は成田ビューホテルで朝日大学の引率の先生と学生との食事会がありました。ここで初めての顔合わせになるのですが、すぐに打ち解けることができイタリアでの研修の抱負やお互いの大学の話などで盛り上がりました。

10日のお昼の便で成田空港からミラノのマルペンサ空港へ向かいました。ミラノには夕方に着し空港からバスで1時間程ミラノの中心部に向かいました。ホテルはミラノ中央駅の目の前にある四つ星のミケランジェロホテルでした。ホテルにチェックインした後、ミラノの街の観光に行きました。イタリアにある中でも最大級のミラノのドゥオーモや市役所やガッレリア、スカラ座を見て回りました。

11日は朝からサンタ・マリア・デッレ・グラッツィエ教会にあるレオナルド・ダ・ヴィンチ作の最後の晩餐を見ました。引率の先生に事前にチケットを予約していただいていたので教会に入って直に見ることができて貴重な経験をすることができました。その後、ミラノ国立がんセンターを見学させていただきました。センターの方達は皆親切で、ラボの説明を受けながらセンターの中を見せていただきました。センターの方と食事を取った後、ミラノ中央駅から特急でフィレンツェへ向かいました。駅でシエナ大学のドルド先生とジアーダに出迎えられて、車でシエナに向かいました。シエナの街は建物の色が統一されていてまた、歴史のある建物ばかりで映画で観るような素晴らしい街並みでした。この日はホテルにチェックインした後街を軽く観光して、街のレストランでシエナ大学の先生と学生達が歓迎会を開いてくれました。初めは着いたばかりで緊張や不安や言葉の違い、恥ずかしさがあつてなかなか上手にコミュニケーションが取れずにいたのですが、向こうの先生や学生が積極的に優しく話し掛けてくれていたのでジェスチャーなどを入れながらですがすぐにコミュニケーションを取れるようになりました。

12日は朝からドルド先生やシエナの学生3人と車でフィレンツェへ向かいウフィツィ美術館を見学しました。ここには、レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロ、ラファエロなど世界を代表する芸術家達の作品が数多く展示されていて見ていてとても感銘を受けまし

た。午後はアウトレットで買い物をしました。またこの日の夕食はシエナ大学の矯正科の先生方も一緒に食べました。

13日は朝からシエナ大学に向かい、大学病院を見学させていただきました。病院内では補綴科、歯内療法科、口腔外科などの診療室、また実際に治療しているところも見学させていただきました。病院内の設備は多少日本と感じが違いましたが、診療風景や治療内容、使用している器具は日本と差があまり感じられませんでした。また、その他にも矯正の授業に少し参加させていただいたり、学内のカフェや食堂でランチを取ったりとシエナ大学の学生生活を体験させていただきました。授業は少人数制で皆が積極的に質問できる環境になっていました。午後はシエナの学生3人とガイドの方とシエナの街の観光をしました。シエナのドゥオーモやカンポ広場などを回りました。シエナは一つ一つの建物に歴史があり1日中街を歩いても飽きずに回ることができます。

14日はドルド先生や学生達に別れを告げて、フィレンツェから特急でローマに向かいました。ローマではバチカン市国の博物館やコロッセオやトレビの泉、スペイン広場を観光しました。ローマには世界的に有名な場所が多く、街や建物もミラノやフィレンツェ、シエナと違った様式になっていてどの場所も素晴らしかったです。

15日から16日にかけてローマのフィウミチーノ空港から成田空港に帰国しました。

今回の海外研修はとても良い経験になりました。本学で学んだことを実際に他の国に行き自分の目で見て比較することができて、類似することや異なることを感じることができました。また、普段と異なる環境で言葉も違って不安が多かった中で過ごしているうちに徐々にコミュニケーションが取れるようになって今後の自信になりました。これからも研修で知り合った人達と情報交換をしていきたいと思います。そして将来またシエナに行き学びたいと思いました。

最後に、海外研修という機会を与えていただいた宮田理事長、中嶋歯学部長、明海大学の方々、引率して下さった朝日大学の先生、シエナ大学の方々にとても感謝しています。この経験が無駄にしないように今後も勉強に励み、将来のモチベーションにして努力を続けていきたいと思っています。

学生 ②

「イタリア海外研修を終えて」

私たちのイタリア海外研修は3月9日、成田ビューホテルへの前泊から始まりました。成田ビューホテルにて今回引率して下さった朝日大学の田沼順一教授と、一緒にイタリアへ研修に行く朝日大学の学生2名と顔合わせをしました。朝日大学の方とは田沼教授も含めて全く面識がなかったので、1週間海外を共に行動していくことに不安もありましたが、夕食をとりながら自己紹介やお互いの学校のこと、これからのイタリアのことなどを話していくうちに打ち解けることができました。

翌日の10日に成田空港を出発し、12時間のフライトを経てミラノのマルペンサ空港へ到着しました。イタリアの気候は日本より少し暖かかったです。空港からリムジンバスにてホテルへと向かい、荷物を置いた後にミラノの街を観光しに出かけました。地下鉄に乗りドゥオーモを観に行くことが出来、歴史的な建造物の壮大さと美しさに感動しました。

11日は、ミラノ国立がんセンターを見学させていただきました。がんセンターの先生方が、とても親切に各分野で行っていることや、建物の中を丁寧に説明しながら案内してくださいました。次に、サンタ・マリア・デッレ・グラッツィエ教会にてレオナルド・ダ・ヴィンチの最後の晩餐を観ました。サンタ・マリア・デッレ・グラッツィエ教会は温度などの管理がとても厳密になされており、15分間しか観ることができないようになっていました。しかし、教会で働いているガイドの方が絵を観ながら、とても詳しく説明をして下さったので15分で最後の晩餐にどのようなことが描かれているか理解することができました。その後ミラノのセントラル駅から電車でフィレンツェへ向かいました。フィレンツェに到着すると、シエナ大学のドルド先生と学生の方が2人で待っていて出迎えてくれました。そのまま用意して下さっていたバスに乗り、シエナへと向かいました。フィレンツェもシエナも写真でしか見たことのないような美しい街並みで、バスから見える景色にも感動ばかりでした。夜は、ドルド先生が歓迎会を兼ねた夕食会を開いてくださいました。英語は苦手でしたが、向こうの方々が優しく話しかけてくださり、時には携帯電話で私ができるように調べて下さったりして緊張をほぐしてくれました。

12日はドルド先生と学生の方がフィレンツェへ連れて行ってくださり、ウフィッツィ美術館やアウトレットへ行くことができました。もともとウフィッツィ美術館は予定に入っ

ていなかったのですが本などで見ていて、とても行きたかったので訪れることができ感動しました。

13日はシエナ大学を見学させていただきました。ドルド先生のご厚意で矯正科の授業を急遽英語に変えていただき、私たちも参加することができました。私たちの参加した授業は少人数で行われており、頻繁に質疑応答が繰り返されていました。また、大学病院では矯正科・歯内療法科・補綴科・口腔外科などを見学させていただきました。診療室のチェアのすぐ近くには大きい窓があり、そこからの景色も素晴らしく患者さんも落ち着くことができると説明していただきました。治療も見学させていただきましたが、使用している器具は日本とあまり変わらなかったように感じました。見学後は大学の食堂で昼食をいただき、シエナ大学の日常を体験することができました。その後、シエナ大学の学生の方が日本語のガイドを頼んでくださったので、シエナの街を案内していただき、シエナ大聖堂や、カンボ広場などを観て回りました。

14日はシエナを離れ、電車でローマへ向かいました。ホテルに到着後、バチカン市国・コロッセオ・スペイン広場・トレビの泉を観光しました。残念ながらトレビの泉は工事中で水が全てぬかれていましたが、代わりに足場が組まれていて彫刻を近くで見られるという貴重な体験ができたので良かったです。

15日にローマのフィウミチーノ空港から日本へ帰国しました。

今回の海外研修は、自分にとってかけがえのない経験になったと思います。日本とは環境も文化も違う中で自ら積極的に英語で話していかないといけないという自主性、その環境に慣れるという力もこの研修を通して学ぶことができました。また、大学病院においては日本との相違点を比較する貴重な機会となり、自分自身で経験ができたので、とても勉強になりました。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった宮田理事長、中畷歯学部長、明海大学の先生方や学事課の方々に心より感謝します。この経験を、これからの自分の糧にして努力を続けていきたいと思っています。